

# シリンダカッタ

## 取扱説明書

CR-191  
CR-211

### も く じ

#### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 5
- 使用前の準備 ..... 6

#### ご使用にあたって

- 毎日作業前の点検 ..... 8
- 作業のしかた ..... 9

#### 知っておきたいこと

- 定期点検と調整 ..... 10
- 長期格納 ..... 12
- 不調の原因と処置 ..... 12

#### その他

- 仕様 ..... 13
- オプション ..... 13
- 安全確認一覧表 ..... 14

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんにご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**⚠ 危険** …… もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。

**⚠ 警告** …… もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

**⚠ 注意** …… もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

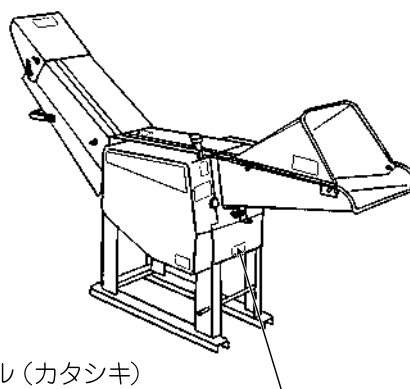
**重要** …… もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



ラベル (カタシキ)  
型式名・製造番号

### **⚠ 警告**

- 本機はわら・牧草類・残幹切断用として設計されております。このほかの用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

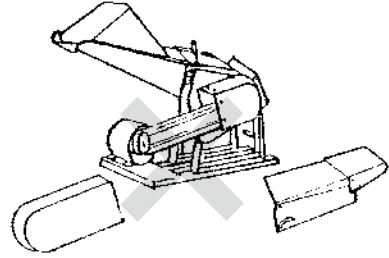
作業に合った服装



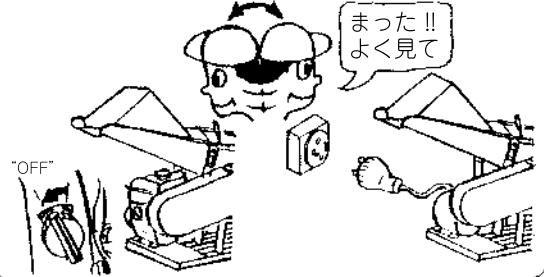
(軍手禁止)



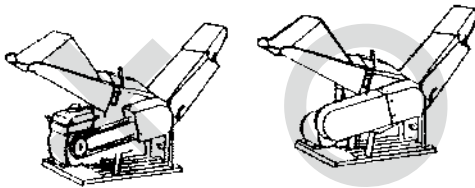
カバーは必ず取付けてから  
運転



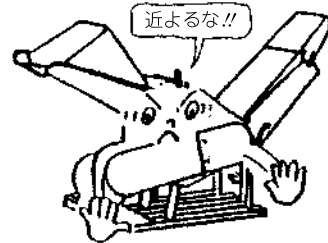
原動機の始動は  
周囲の安全を確認してから



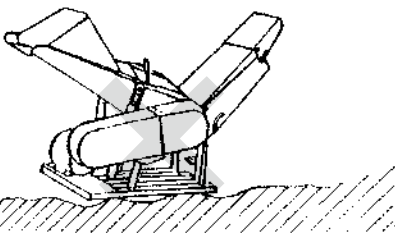
原動機とカッタ間の回転部は  
必ず防護



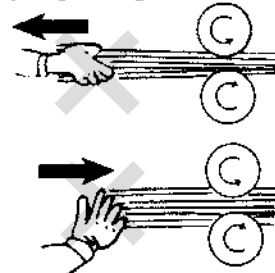
回転中は人を近づけない



設置は水平でしっかりした所

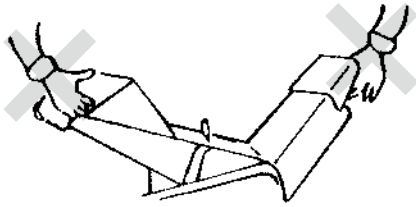


供給物を無理に引っ張ったり、  
押し込んだりしない

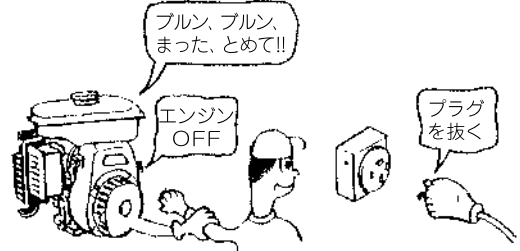


# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

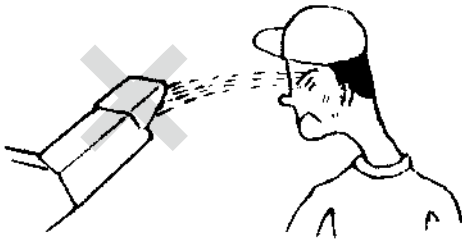
回転中は供給口や吐出口へ  
絶対に手を入れない



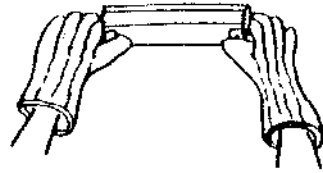
機械から離れる時は必ず  
原動機停止



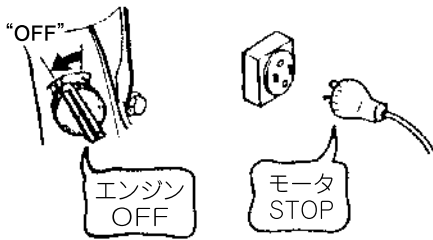
吐出口を人や家畜に向けない



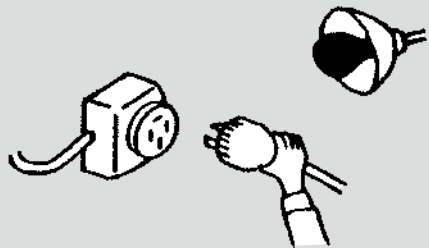
刃物の点検・交換時は厚手の  
革手袋着用



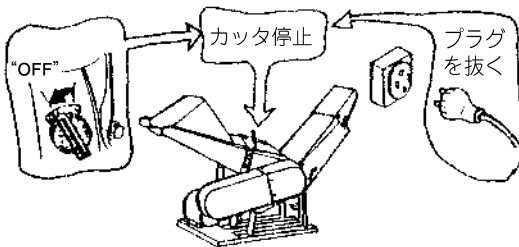
異常発生時はすぐ原動機停止



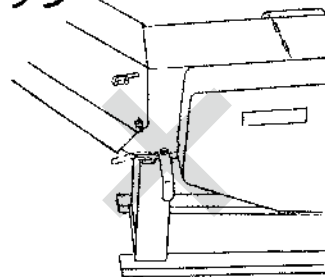
停電やブレーキ作動時はすぐ  
スイッチを切る



点検は原動機を停止し、カッタ  
が止まってから



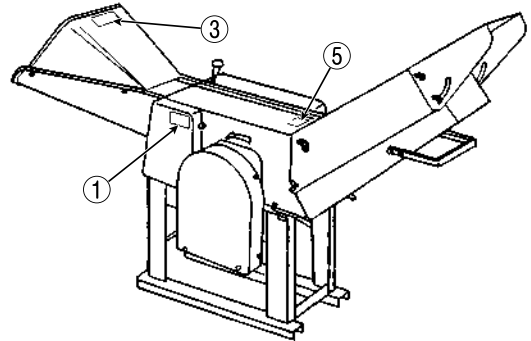
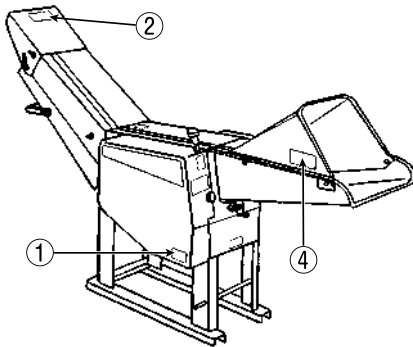
点検以外はロックレバーを必ず  
ロック



# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

## 使用前に安全ラベルをよく読む

- カッタには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解したうえで作業してください。



① 品番 57422-7119-1

	<b>⚠️ 注意</b>
	このカバーを外したままで使用しないこと。 中の回転物に巻き込まれることがあります。 <small>57422-7119-1</small>

② 品番 71168-4121-1

	<b>⚠️ 危険</b>
	1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを外したままで使用しないこと。
	<b>⚠️ 注意</b>
	人や家畜に吐出口を向けないこと。切断物があたりケガをすることがあります。 <small>71168-4121-1</small>

③ 品番 71168-4118-2

	<b>⚠️ 危険</b>
	1. 中のロールによりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切ってもロールはすぐには止まりません。 2. この供給口を開けたままで使用しないこと。 <small>71168-4118-2</small>

④ 品番 71131-4117-1

<b>⚠️ 注意</b>	
1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は取寄せてください。 3. 必ず動力部の安全カバーを取り付けて使用のこと。 4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。 5. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元通り取り付けること。 <small>71131-4117-1</small>	

⑤ 品番 71168-4119-1

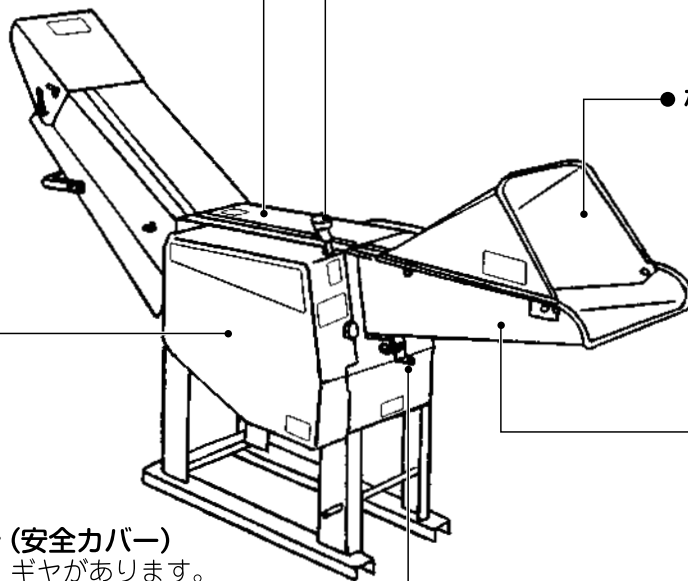
	<b>⚠️ 危険</b>
	1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は絶対にカバーを開けないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを開けたままで使用しないこと。 <small>71168-4119-1</small>

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼付されている部分を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき

- **上部カバー (安全カバー)**  
内部に回転刃があります。

- **供給クラッチ**  
クラッチを「入」にすると  
供給ロールが回転します。



- **樋カバー (安全カバー)**

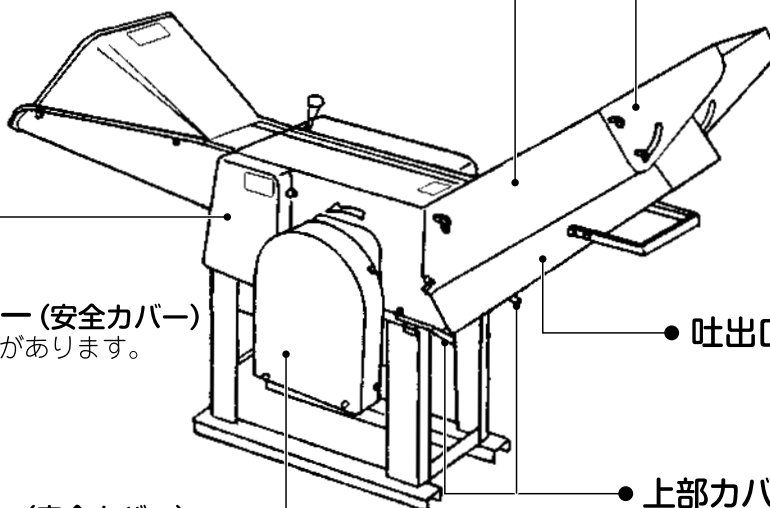
- **供給樋**  
供給物の供給をおこなう  
案内樋です。

- **ベルトカバー (安全カバー)**  
内部にVベルト・ギヤがあります。

- **樋ロックレバー**  
供給樋を固定します。

- **吐出口1**  
切断物の吐出距離(角度)を調節します。

- **吐出口3 (安全カバー)**  
切断物の吐出距離(角度)  
を調節します。



- **チェーンカバー (安全カバー)**  
内部にチェーンがあります。

- **吐出口2 (安全カバー)**

- **プーリカバー (安全カバー)**  
内部にプーリがあります。

- **上部カバーロックレバー**  
上部カバーを固定します。

# 使用前の準備

## ⚠ 注意

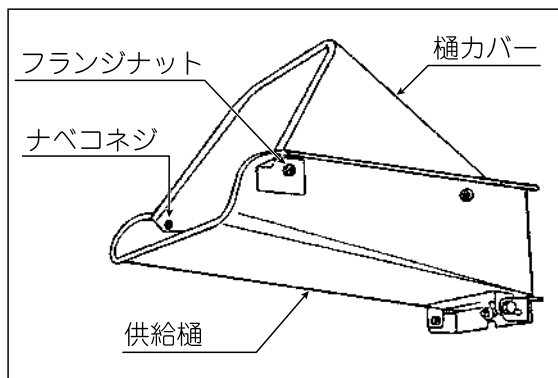
● 準備作業は必ず原動機を停止した状態で行なってください。

### 1. 供給樋・樋カバーの組付け

① 供給樋に樋カバーを組付ける。

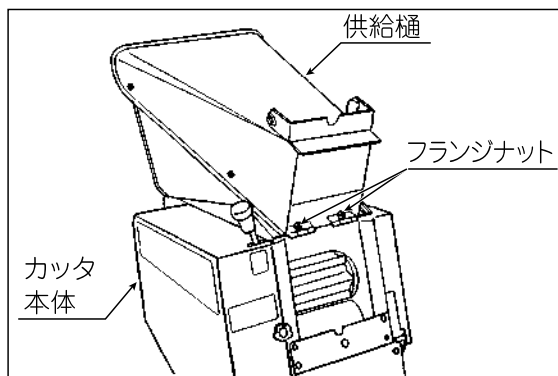
M6×14ナベコネジ……………4個

M6フランジナット……………4個

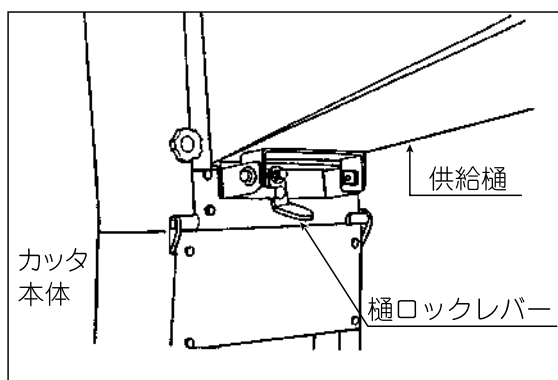


② 供給樋をカッタ本体に組付ける。

M6フランジナット……………2個



③ 供給樋の樋ロックレバーでカッタ本体にロックする。



### 2. 吐出口1・2・3、持手の組付け

① 吐出口1・2をカッタ排出部へ組付ける。

M6×12蝶ボルト……………4個

M6平座金……………2個

M6バネ座金……………4個

② 吐出口3を吐出口1・2に組付ける。

M6×12蝶ボルト……………4個

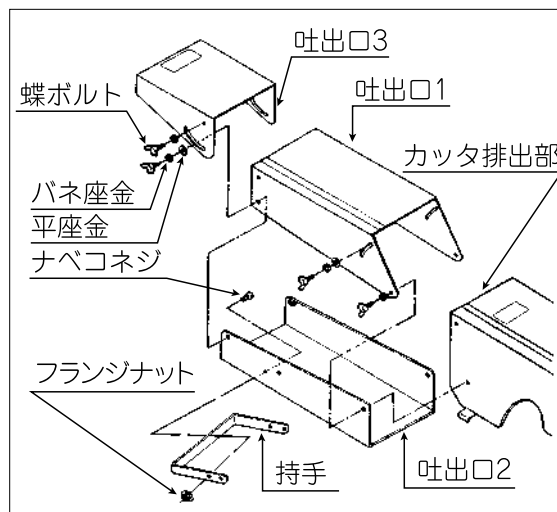
M6平座金……………2個

M6バネ座金……………4個

③ 持手を吐出口2に組付ける。

M6×14ナベコネジ……………4個

M6フランジナット……………4個



注) カッタ梱包枠の脚部角材は、オプションのセットカー（CRS）に搭載するとき、使用します。セットカーを使用する場合は捨てないでください。  
（詳細は13頁「オプション」セットカー参照）

### 3. 設置場所の選定

凹凸のない平坦で水平な場所を選んで設置します。

#### ⚠ 注意

- 不安定な場所に設置すると、作業中に移動したり、転倒したりする危険があります。
- 作業中はほこり・ごみなどが発生します。通気性の良いところに設置してください。
- 火気のあるところには絶対設置しないでください。切断わらなどに引火し、火災のおそれがあります。

### 4. 回転数の設定

カッタ主軸回転数は950～1000rpmに設定します。  
原動機プーリ径は右表を参照して選定してください。

原動機回転数(rpm)	原動機プーリ径
1400(モータ50Hz)	B-4"
1700(モータ60Hz)	B-3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> "
1800(エンジン)	B-3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> "

#### 重要

- 1050rpm以上は回転させないでください。回転数が高いと機械寿命が低下します。
- 900rpm以下で回転させますと過乾燥材・湿った生牧草などの難排出材が吐出口で詰まり、作業できない場合があります。

### 5. 原動機のセット

#### ⚠ 注意

- 原動機とカッタ間の回転部・伝動ベルトは必ずカバー・ガードなどで危険のないよう防護してください。防護なしで使用すると、回転体に巻込まれケガをすることがあります。
- 原動機にエンジンを使用する場合
  - エンジンの高温部に直接ごみなどがかからないよう、カバーなどで被ってください。高温部にごみがかかると火災の原因となります。
- 原動機にモータを使用する場合
  - 緊急時にすぐに停止できるように、作業位置の近くにスイッチを設けてください。
  - 火災防止のため、必ずブレーカの設置された電源盤から電源をとってください。
  - 火災防止のため、モータ容量に合った電源コードを使用し、コードの接続は確実に行ってください。
  - 感電防止のため、必ずアースを適切に接続してください。

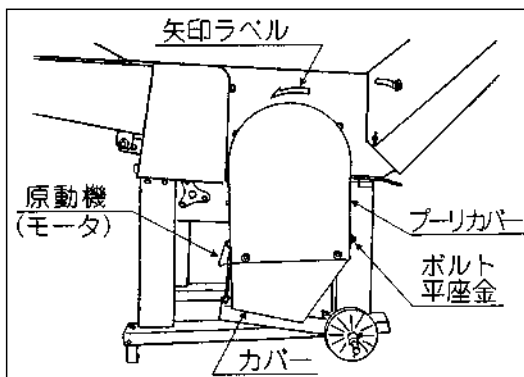
原動機の出力は右表を参照して選定してください。

	CR-191	CR-211
モータ(KW)	0.4~1.5	0.75~1.5
エンジン(PS(KW))	5(3.8)以下	5(3.8)以下

#### 重要

- これ以上のものを使用すると破損する場合があります。

- ① 原動機のプーリを主軸プーリセンタに合わせ作業中移動することのないよう固定します。
- ② 原動機をしっかりと固定し、ベルトを掛けます。
- ③ 回転方向をカッタの矢印ラベルに合わせます。
- ④ プーリカバーを組付ます。  
M6×14ボルト …………… 4個  
M6平座金 …………… 4個
- ⑤ 原動機のプーリとベルトの露出部を危険のないようにカバー・ガードなどで防護します。





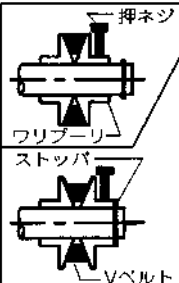




## 6. 切断長の設定

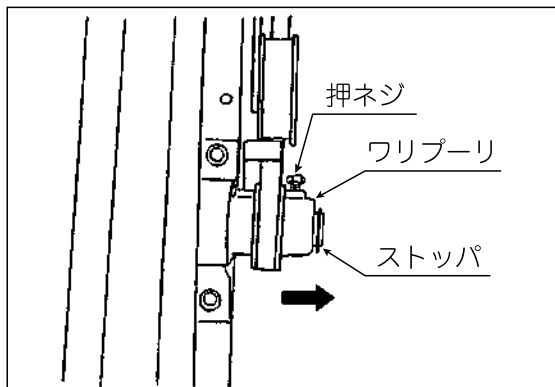
切断長さは替えギヤ2枚とワリプーリの組合せで4種類の選定ができます。

### ■ワリプーリの切換え

- ①供給クラッチを「切」にします。
- ②ワリプーリの押ネジをゆるめワリプーリをストッパに当たるまでスライドします。
- ③ワリプーリの押ネジを締付けます。

切断長さ調節表

		オプション			
	45mm	90	22	150	
	35mm	70	17	120	
	T33	T23	T42	T14	
					
	T23	T33	T14	T42	



## 毎日作業前の点検

### ⚠ 注意

- 点検作業は必ずエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。
- 点検で外したカバー類は、必ず元通り取付けてください。

### 1. 原動機・カッタの掃除

原動機・カッタ及びその周辺のごみ・切屑などを毎日作業前にきれいに取除いてください。カバー内部のごみ溜まりなども取除いてください。

### ⚠ 注意

- 原動機の高温部にわらくず、ごみなどがあると火災の原因となります。
- 原動機の冷却風の通路がごみなどでふさがると、過熱して火災の原因となります。

### 2. 刃物の接触

### ⚠ 注意

- 刃物が接触したり、ボルトがゆるい状態では絶対に回転させないでください。刃物が欠けて飛散し、傷害事故になることがあります。

- ①カッタの主軸を手でゆっくりと回転し、回転刃と回転刃の接触がないか確認する。接触があれば、すき間調節してください。(P11参照)
- ②刃物取付ボルトがゆるんでいないか確認する。もし、ゆるんでいるときは締付けてください。そのほかのボルト、ナットのゆるみなど異状がないか確認し、異状があればそのまま使用せず、すぐに処置してください。(P10参照)

# 作業のしかた

## ⚠ 危険

- カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないでください。中の回転刃で大ケガをします。

## ⚠ 注意

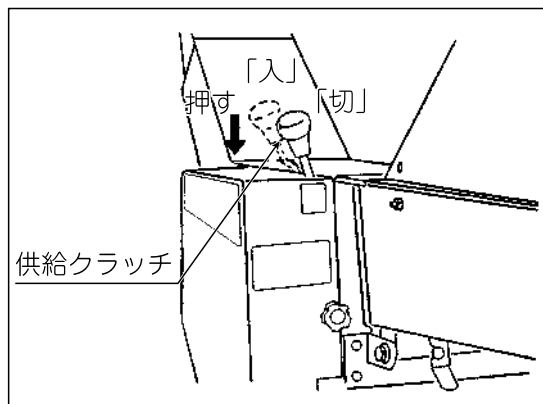
- カバー類を外したままで回転させないでください。回転体に巻込まれてケガをします。
- 排出口を人や家畜及び火気に向けないでください。切断物が飛散して傷害事故や火災になることがあります。
- カッタ回転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんに注意してください。
- 作業中に詰まりなどの異状が発生した場合は、すぐに原動機を停止し、カッタの回転が止まってから点検してください。
- 機械から離れる場合は、必ず原動機を停止してください。
- 作業中に停電または電源ブレーカが作動してモータが停止した場合は、すぐにスイッチを切るか、プラグを抜いてください。通電状態で電気が復帰すると、突然カッタが回転し、大変危険です。
- 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックして回転してください。ロックしないとカバーが開きケガをするおそれがあります。
- 作業場所の換気と明るさに注意してください。

## 1. カッタ作業

### ⚠ 注意

- 周囲の安全をじゅうぶん確認してから始動してください。原動機の始動と同時にカッタも回転します。
- 必ず供給クラッチを「切」にしてから、始動してください。

- ① 原動機を始動します。
- ② 供給クラッチを「入」にします。
- ③ 供給物を供給樋に載せ、供給します。



## ⚠ 危険

- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻込まれて大ケガをするおそれがあります。
- 供給物を引っ張ったり、押込んだり、付着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。
- 供給物に異物（石・工具・金属など）が混入しないように注意してください。突発的に思わぬ方向に飛散し、事故につながる可能性があります。

## 重要

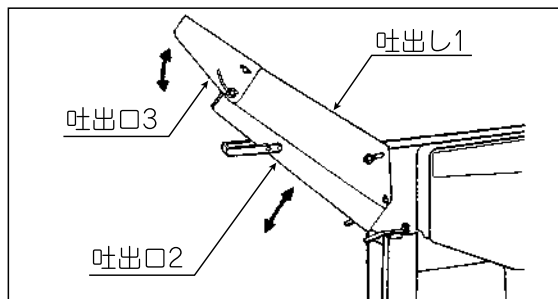
- 直径20mm以上の残幹は絶対に供給しないでください。カッタが破損するおそれがあります。
- わら束が大きい場合は半分ずつずらして供給してください。
- 梱包牧草はよくほぐし、くい込みやすいように先端を薄くして供給してください。

## 2. 放出距離の調節

### ⚠ 注意

- 排出口の調節は必ず原動機を停止してから行なってください。

切断物の放出距離は吐出口1・2、吐出口3の角度で調節します。



### 重要

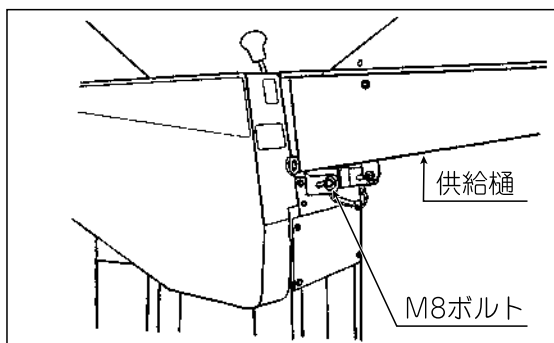
- 切断長120mm、150mm（オプション部品使用時）の場合は、吐出口3を水平より

## 3. 供給樋の高さ調節

### ⚠ 注意

- 供給樋の調節は必ず原動機を停止してから行なってください。

供給樋のM8ボルトをゆるめ、作業しやすい高さに調節してください。



# 定期点検と調節

### ⚠ 注意

- 点検・調節は必ず原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

### 点検・調節

項目	参照ページ	実施時間
刃物	P10	切れなくなったら

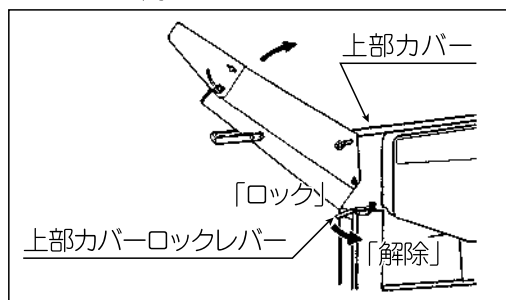
## 1. 刃物の交換・研磨と調節

### ⚠ 注意

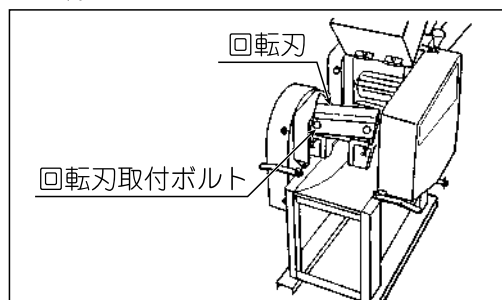
- 刃物の点検・交換・調節・研磨は厚手の革手袋を着用して行なってください。鋭利な刃先でケガをすることがあります。
- 刃物の交換・研磨時は、必ず刃のすき間を調節して、ネジを確実に締めてください。

### ■ 回転刃の交換

- ① 上部カバーのロックレバーを解除し、上部カバーを開ける。

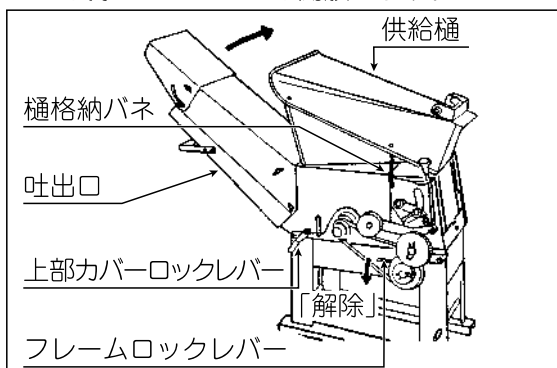


- ② 回転刃取付ボルトを外す。
- ③ 取付けは取付面をよく掃除して、逆の順序で行なう。

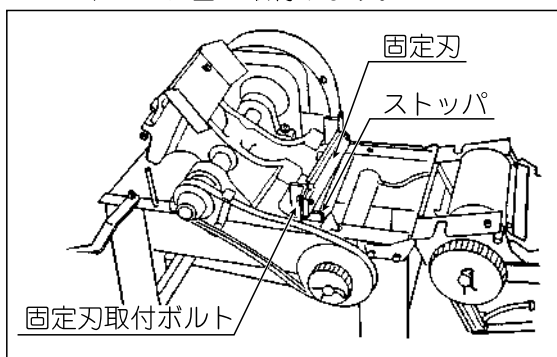


## ■固定刃の外し方

- ①ベルトカバー・チェーンカバーを開きます。
- ②樋ロックレバーを解除して供給樋を格納します。
- ③樋格納バネを樋カバーの穴部に差込みます。
- ④上部カバーロックレバーを解除します。
- ⑤フレームロックレバーを解除して、吐出口を持ってフレームを開放します。



- ⑥固定刃取付ボルトを外します。
- ⑦取付けは取付面をよく掃除して、固定刃をストップに当て取付けます。



## ■刃の研磨

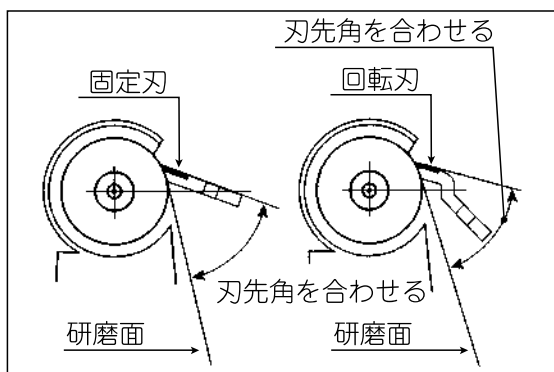
### ⚠ 注意

- 研磨時は火花が飛びます。必ず保護メガネを着用し、周囲の人・物に注意して安全に行なってください。

研磨機（水砥石）に刃物の刃先角を合わせて研磨します。

### 重要

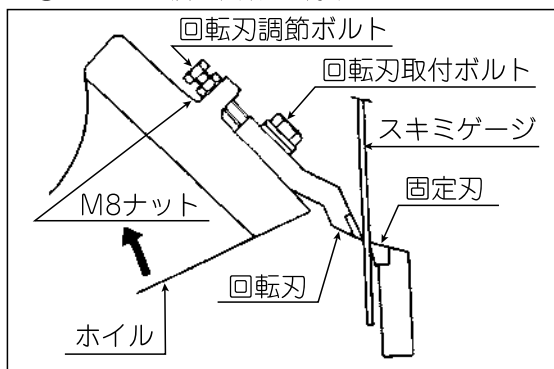
- 刃先の研磨面は間違えないでください。
- 回転刃は取外した面に同じ回転刃を取付けてください。すき間調節が楽に行なえます。
- 刃先が焼けやすいよう注意してください。



## ■刃のすき間調節

回転刃と固定刃のすき間は付属品のスキミゲージで0.2～0.3mmに調節します。スキミゲージを固定刃に垂直に当て、回転刃を矢印方向に手で軽く回し、スキミゲージが刃物で軽くはさまれ通過する程度が適正です。刃のすき間は、刃の両端2箇所を確認してください。

- ①回転刃取付ボルトをゆるめます。
- ②回転刃調節ボルトのM8ナットをゆるめ、回転刃調節ボルトで回転刃を押し出して、すき間を調節します。
- ③すき間調節後は、M8ナット、回転刃取付ボルトを確実に締付けます。
- ④ほかの1枚も同様に調節します。



### ⚠ 注意

- すき間調節後は必ず手でホイルを逆回転し、刃当たりがないか確認してください。
- 外したカバーは元通りに組付け、ボルトナットは確実に締付けてください。
- 供給樋、上部カバーは確実にロックレバーでロックしてください。ロックしないで作業するとケガをするおそれがあります。

# 長期格納

## ⚠ 注意

●機械の保管中はお子さんが近よらないよう注意してください。

- ①各カバーを外し、付着・堆積したわらくずなどを取除いてください。
- ②回転刃・固定刃を油ぶきしてください。また各回転部・支点・カバー内のテンションアーム支点部に注油し、錆びないようにしてください。
- ③ボルト・ナットなどのゆるみを調べ、ゆるんでいれば締付けてください。
- ④風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所へ保管してください。

# 不調の原因と処置

## ⚠ 注意

●点検・整備は必ず原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

現 象	原 因	処 置
供給物が喰い込まない。	束が大きい。	束を半分ずらす。
	供給量が多い。	供給量をへらす。
	小枝が広く張った残幹。	供給口の幅に合わせ枝を切る。
	残幹が太い（直径20mm以上）	直径20mm以下にする。
切断部で詰まる。	供給量が多い。	供給量をへらす。
	カッタベルトスリップ。	ベルトを張る。
	原動機の容量が小さい。	容量を上げる。
	回転数が低い。	回転数を高くする。
	刃物が磨耗し、切れ味が悪い。	研磨する。
	回転刃・固定刃のすき間が大きい。	刃のすき間を調節する。
吐出口で詰まる。	回転数が低い。	回転数を高くする。
	刃物が磨耗し、切口が連なり長いものが混じる。	研磨する。
	吐出口の先端の押さえ過ぎ。	吐出口3を開く。
	材料が軽く飛ばない。	排出口を上げる。
	湿った材料が付着する。	排出口を下げる。
切断長が長い。	回転刃・固定刃のすき間が大きい。	刃のすき間を調節する。
	刃物が磨耗し、切れ味が悪い。	研磨する。
切断長が短い	供給量が多く、ロール部で停滞している。	供給量を少なくする。
異音、騒音がする。	油切れ。	注油する。
	ネジのゆるみ。	締付ける。

# 仕様

型式		CR-191	CR-211
機体寸法	全長(mm)	1640	1640
	全幅(mm)	471	494
	全高(mm)	973	973
総重量(kg)		67	70
口幅(mm)		190	210
所要動力 {PS(KW)}		0.5(0.4)~2(1.5)	1(0.75)~2(1.5)
毎時能力(kg/h)		2500	2800
はね出し機構		シリンダタイプはね出し型	
はね出し距離(m)		6	
切断寸法(mm)		35・45・70・90	
切断寸法切換機構		歯車交換式+ワリプーリ	
伝導部	主軸回転数(rpm)	950~1000	
	クラッチ機構	テンションクラッチ式	

※本仕様の毎時能力は、乾燥稲わらの切断長さが90mmの場合です。

※はね出し距離は、乾燥稲わらの切断長さ90mmの場合です。生牧草類などの場合は、記載仕様の1/2~1/3の距離になります。

※この仕様は、改良のため変更することがありますのでご了承ください。

# オプション

この機械には次のオプションがあります。もよりの販売店・農協でお求めのうえご使用ください。

## ■モーターベース

モーターを内蔵でき、安全に作業できます。車輪がついていしますので移動が楽です。

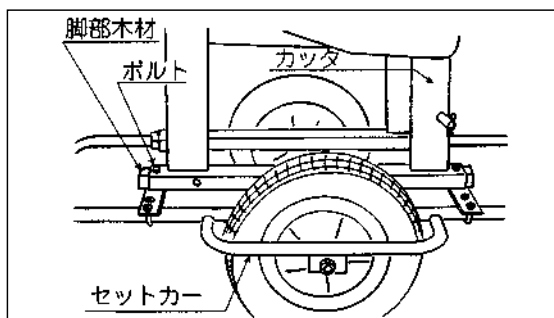
品番	品名
71826-00000	モーターベース(CR-M1)

- M8×60ボルト …………… 4個
- M8平座金 …………… 4個
- M8パネザガネ …………… 4個
- M8ナット …………… 4個

## ■切断長切換えギヤ

下記のギヤを組合せて切断長を17・22・120・150mmの切り替えできます。

品番	品名
71168-91101	カエギヤ、アッシ (T14とT42ギヤのセット)
71168-91111	T14ギヤ
71168-91121	T42ギヤ



## ■セットカー

エンジン・モーターをセットでき、移動できます。

品番	品名
17112-00000	セットカー (CRS)

### 1. セットカーへの取り付け

カッタをセットカーに乗せ、脚部に梱包枠の脚部木材、又は高さ3cmの木材を差込んで固定する。

## ▲ 注意

- セットカーには原動機のプーリ、ベルトの回転部を防護するカバー、ガードなどは入っていません。ご使用者自身で別途準備してください。
- 回転部は危険のないよう、必ずカバー、ガードなどで防護してください。

# 安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意を払うこと。	
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
4. 原動機とカッタ間の回転部は必ずカバー・ガードなどで防護すること。	
5. 水平でしっかりと安定した場所へ設置すること。	
6. エンジンの場合は高温部をカバーで被うこと。	
7. モータの場合は、作業位置の近くにスイッチを設けること。 <ul style="list-style-type: none"><li>● プレーカの設置された電源盤から電源をとること。</li><li>● モータ容量に合った電源コードを使用し、接続は確実に行うこと。</li><li>● アースを適切に接続すること。</li></ul>	
8. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。	
9. カバー類は必ず取付けてから回転すること。	
10. 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックすること。	
11. 原動機の始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。	
12. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。	
13. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。	
14. 吐出口を人や家畜・火気に向けないこと。	
15. 供給物を引っ張ったり、押込んだりしないこと。	
16. 作業中に異状が発生したときは、すぐに原動機を停止すること。	
17. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	
18. 機械から離れるときは、必ず原動機を停止すること。	
19. 作業中に停電またはプレーカが作動したときは、すぐに電源コードを抜くこと。	

## 【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整は原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。	
2. 刃物を点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。	
3. 保管中はお子さんに触れさせないこと。	





# 安全確認一覧表

## 基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
4. 原動機とカッタ間の回転部は必ずカバー・ガードなどで防護すること。
5. 水平でしっかりと安定した場所へ設置すること。
6. エンジンの場合は高温部をカバーで被うこと。
7. モータの場合は、作業位置の近くにスイッチを設けること。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ブレーカの設置された電源盤から電源をとること。</li><li>● モータ容量に合った電源コードを使用し、接続は確実にすること。</li><li>● アースを適切に接続すること。</li></ul>
8. 毎日作業前に点検・掃除を行うこと。
9. カバー類は必ず取付けてから回転すること。
10. 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックすること。
11. 原動機の始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。
12. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。
13. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。
14. 吐出口を人や家畜・火気に向けないこと。
15. 供給物を引っ張ったり、押込んだりしないこと。
16. 作業中に異状が発生したときは、すぐに原動機を停止すること。
17. 供給物に異物が混入しないよう注意すること。
18. 機械から離れるときは、必ず原動機を停止すること。
19. 作業中に停電またはブレーカが作動したときは、すぐに電源コードを抜くこと。

## 点検・格納について

1. 点検・調整は原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。
2. 刃物を点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。
3. 保管中はお子さんに触れさせないこと。

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 71104-5141-2